

## 第4回 塩竈市水道事業基本計画検討委員会の概要

日 時	令和3年11月9日（火） 14:00~15:45
場 所	塩竈市水道部2階大会議室
出席委員	西村委員長、嶺岸副委員長、小林委員、鈴木（洋）委員、東委員、鈴木（幸）委員、菊田委員、千坂委員
塩 竈 市	水道部長、水道部次長、水道部業務課長
事 務 局	水道部業務課企画総務係

### 1. 開会

### 2. 委員長挨拶

お忙しい中、お集りいただき御礼申し上げます。今回は水道事業基本計画の素案が事務局より示されている。令和4年から令和13年の水道事業の10年間の大事な計画となる。日本全国、水道事業は様々な課題が山積していて塩竈市も例外ではない。水道は最も重要な社会基盤の一つであり、30ページと量は多いが様々な角度からご意見を頂ければと思う。

### 3. 議事概要

事務局から資料に基づき説明。その後質疑応答。

#### （1）塩竈市水道事業基本計画（令和4年～令和13年度）素案

（事務局）P9 ③災害対策などの充実の表中『重要水道管路の耐震化率結果』の部分で説明時に令和元年度の値を9.28%から59.25%と訂正したが更に58.1%に訂正をお願いしたい。

（委員）・P11『給水人口は人口減少社会の到来により』と記載がありP18 経営の課題『少子高齢化、人口減少社会の到来が確実の状況であり』とあるが同じ意味なのか。少子高齢化は、これからくるものか、今到来しているか分かりやすく記載していただきたい。

・P19ではこれまでの現状・課題を受けてこうするという記載がなく、これまでの課題などがどのように踏襲されているか分かりにくい。P18、3章の総まとめとこれまでの課題の記載だがその流れがない。

・P19では3つの『基本目標』と掲げているものがP20では3つの『基本施策』となっている。

・P20文中では『新水道ビジョン』と記載があるが同ページ表中では『水道ビジョン』

となっている。同じものか。

・P19では4-1、P20では4-3となっているが4-2はどこかにあるのか。

・P22 重点施策では(2)環境保全の取組となっているがP23(2)では水道の安全対策になっている。

・P27 5-3 重点施策3となっているが基本施策の間違いか。

・4章、5章だが将来像と目標と言っているが基本理念と基本目標・基本施策が一緒になっているので、言葉の使い方を整理していただければ。

・5章、例えばP24でいうと取り組みと目標達成のための方策で指標がでてきたりしているが整理をしていただきたい。

(事務局) 今回の指摘についてはまとめて修正・整理をさせていただきたい。

(委員)・P22 ①水安全計画の推進 必要に応じた水安全計画の見直しとあるがP24では水安全計画の定期的な見直しとあるのでどちらなのか。取り組みの中で指標化する部分なのかも含めて整理をお願いしたい。

・P9,10で全計画の数値などが記載されているものがP24 目標達成のための方策のイメージになるかと思うが分かりにくいので、整理していただくとありがたい。

・P27 広域連携の記述をしていただきありがたい。できればP16でも広域連携の必要性を入れていただくとありがたい。

・P18 は蛇足にも感じるので必要なかどうか検討いただきたい。冒頭部分の地方分権からの部分は表現の見直しが必要に感じる。

・P26 ①応急給水の部分で断水があった際に県にも届いた声として、給水ポイントまで水を取りに行くのが大変だというものがあった。災害弱者の方に福祉部門と連携してまとめて水が届けられるようにするなど、取り組みとして具体的に記述していただくと検討も進むかと思う。

(事務局) 整理させていただく。

(委員)・目標と全体の指標とがうまくかみ合っていないように感じたのでもう一度精査する必要があるのでは。耐震化率を64.8%とあるが、10年で考えるものなのか、年次計画を立てて方向を示し議会でもんだ方がいいのでは。

・浄水場の発生残土はどこに捨てているか明記するのがいいかと思う。

(事務局) 発生土は許可を得ている会社に収めている。

(委員) その業者がどこに捨てているか分からないので追跡調査まで行っていただきたい。

(委員) P15 職員の状況にて年齢構成が20~30代が少なく技術職がないのか。人材の育成・技術の継承とあるが、そもそも人材確保ができていなければ育成・技術継承はできないと思う心配になる。基本計画には示していただければと思う。

(委員) 塩竈市の職員全体でも似たような状況となっている。途中の年代層が抜けている。前計画の策定のときに人件費の削減等で全体的に空洞化しているのではと思う。

(委員)・人材確保を計画的に行っていただいきいと思う。水道のことをよく分かっている人がいないと安全・安心な水道の持続というのは難しいと思う。

・他の都市で災害が起きた場合にどのような役割を果たすのか、どのような対応ができるのか強靱の視点をもう少し広く考えていただきたい。基本計画のどこかにも入れていただきたい。

・人材に余裕をもって確保するということは経営の合理化の点では厳しいが、災害に備えるためにはギリギリの人数での事業運営では難しく、公的に経営している水道事業の大きな特徴であるので、災害時のライフラインの重要性を私たちは認識しているので、担っている方々についても基本計画にも足していただければと思う。

(委員) 油流出時に近隣の市町から応援をいただき、大変ありがたかった。応援協定の強化・推進をお願いしたい。

(委員) 自治体の災害時の水道事業の基本的な対応としては、日水協という組織があり県、東北、全国の組織と強固につながっている。油流出の際も、県の取りまとめの石巻の事業体が塩竈からの要請を受けて県内に一斉に指示を出して給水に来ていただいたかと思うが、こういった体制がある。

(委員) 職員の状況の経験年数で市職員は異動があるので年数が重ならないのかと思うが、その中でどう技術を継承していくかが大事であると思う。

(事務局) 本庁との異動があるなかで、我々としても技術の継承が大きな課題と思っている。市全体の交流の中で努力をしてまいりたい。

(委員) 鉛製給水管の対策で消費者の負担を減らす制度があり、もっと必要性や制度をPRしていただければ消費者は安心できると思う。

(委員) 給水装置について、気にとめていなかったので家の給水装置をみてみようと思う。

(委員) P19 持続可能な経営基盤の強化について、他自治体も厳しい状況だと思うが、実際に経営ができなくなった事例はあるか。もし塩竈市水道部で水道事業の運営ができなくなった場合、私たちが使っている水は使えなくなるのか。P29 料金回収率が実質100%となることはないと思うが、伺いたい。

(事務局) 経営ができなくなった事例は聞いているものはない。赤字で倒れないように料金改定が常につきまっとっており、委員が心配されているような事態に陥ることはないよう国からも指導を受け経営基盤をつくっているのだから安心していただきたい。人口減少が進むなかで施設などがオーバースペックとならないように、計画をつくっている。経常収支比率 100%を維持していかないと赤字になってしまうので、料金と事業の投

資を天秤にかけながら 100%維持を命題に行ってまいりたい。

(委員) 本日貴重な意見を多々頂いたので、事務局には今回の基本計画にできる限り反映するようにお願いしたい。また、本日の議論を踏まえて追加でご意見あれば、事務局にお寄せいただきたい。今後の予定として、パブリックコメント実施の前に、見え消しで修正した素案を各委員に確認いただいた上で、次に進んでいただくようお願いする。

#### 4. その他

今回の意見を反映した素案を委員に確認いただいた後にパブリックコメントを実施する。

第5回委員会では最終案をお示し 12~1 月に実施予定。